

2019年11月13日

兵庫県社会保障推進協議会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7
兵庫県民医連内
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

- * 25条共同宣伝統一行動(全国・各ターミナル宣伝) 11月25日(月)
- * 第5回優生保護法被害国家賠償請求兵庫裁判 11月28日(木)15時30分、神戸地裁101号法廷/報告集会
- * 「浅田訴訟を学び、65歳問題を考える」学習会 12月8日(日)13時30分、神戸市総合福祉センター4階
- * 税金の仕組みと2019年分確定申告学習会 12月10日(火)14時、兵庫県保険医協会

「深刻な認知症対応」家族・友人が相談先なく電話

2019「介護・認知症なんでも無料電話相談」協力体制広がる

介護・認知症なんでも無料電話相談が11日、全国一斉にとりくまれ兵庫県では、県社保協と認知症の人と家族の会兵庫支部が共催で取組みました。毎年いい介護の日の11月11日に合わせて行動しており、今年は新たに電話対応相談員に、特定非営利活動法人福祉ネット星ヶ丘と兵庫民医労からも協力を受け12名が対応しました。

なじみの店のママ(80代・独身)の認知症が進んでいるのを心配した友人からの電話相談では、店を手伝っている女性(60代)が金銭を使い込んで、彼氏とママの家に入り込んでいた状況を聞き取りました。早速虐待疑いとして市に通報することをアドバイスしました。一緒に地域包括センターに調査依頼をすることで実態が明らかになり、救済対応が取られるようになりました。

80代で独居の義理の母が認知症と診断されたが、介護サービスを拒否。俳諧が心配だが、ケアマネージャーは「本人がサービスを拒否するので対応できない」といわれ、相談相手がいない電話してきたケースなど、認知症が絡む相談が多数をめました。

兵庫での取り組みでは、相談員(福保労3名、民医連4名、星ヶ丘4名、民医労1名)が、6件の相談に応えました。全国34都道府県から251件の相談が寄せられました。中央社保協では即日、集計結果を記者発表し「今回の電話相談を通じて現在の安部内閣、厚生労働省がすすめる「介護保険からの卒業」政策では、介護をさらに「家族による介護」へと押しやり、20年前にかかげた「介護の社会化」がさらに遠のくことを実感しました」等のコメントを発表しました。



政府による公的病院再編統合の再検討要請 兵庫の地域医療を守る会と6つの地域の会が兵庫県知事あてに申し入れ



政府が424病院、兵庫では15病院の公立公的医療機関を指定して統合再編の検討要請について、兵庫の地域医療を守る会として11月11日(月)県知事あてに申し入れを行いました。この申し入れは県内各地域の会との連名で行いました。

「県は政府の公表したデータは、根拠が不明で詳細を明らかにするように政府に求めている。国と地方の協議の場で県としての要望はしていく」と回答。しかし、県は各病院の自主的な取り組みだとしながらも、急性期病床8080の削減を内容とする、兵庫県の地域

医療構想を推進すると何度も強調しました。県担当者によると、年内に政府から新たな通知が出るとのことです。その通知の内容は地域医療構想にもとづく病床削減や病院・医療機関の統合再編(機能分化、連携を含む)の取り組みを促進するものとなるようです。政府は来年3月までの各病院の検討を求めており、政府の通知を受けて12月から1月にかけて各医療圏ごとに調整会議が行われ、情勢が一気に動く可能性があります。正式な通知が出てから、改めて県担当者との懇談の場をもつことになりました。(申し入れ事項 別紙参照)